

あゆむ

認知症の人とあゆむ会

〒026-0052 岩手県釜石市小佐野町 3-9-1
事務局：はまゆり在宅介護支援センター内
TEL：0193-25-0650/Fax：0153-23-1415

あゆむ会施設見学会開催

認知症の人とあゆむ会施設見学会が 9 月 12 日、正会員 13 名、事務局 4 名参加し、大槌町吉里吉里の特別養護老人ホームらふたあヒルズ、釜石市片岸の小規模多機能施設あお空で行なわれました。

特別養護老人ホームらふたあヒルズという名称は、笑い声が聞こえる丘にしたいという施設側のお考え通り、施設から一望できる吉里吉里の海は真っ青で会員の心を捉え皆一様に笑顔になっていました。

らふたあヒルズでは入所者が自宅と同じ雰囲気
気で過ごせるようにと全室個室のユニットケアを採用しています。参加者は 2 グループに分かれ、施設職員の説明を受けながら



全てのユニットを見学しました。それぞれに様々な工夫がしてあり、入所者の幸せそうな笑顔が印象的でした。

その後、震災後リニューアルオープンしたマストで休憩をとって合間に買い物等を楽しみ、場所を釜石市片岸の小規模多機能施設あお空に移し、2 つ目の施設の見学を始めました。

あお空という施設は、通い・訪問・泊まりからなる小規模多機能施設、認知症の方が共同で生活するグループホーム、部屋を賃貸して介護を受けながら生活する高齢者専用賃貸住宅の 3 つの施設が平屋で繋がっている複合型の施設です。

管理者の中村さんの説明を聞き、「なじみの関係」を意識した施設の造りや介護の仕方などに、会員の方々は大いに感銘を受けていました。

三二講座

歌を通じて認知症介護を考えよう

今回は、7 月 18 日の定例会で紹介された樋口了一さんの「手紙～親愛なる子供たちへ～」という歌の歌詞を一部掲載します。定例会では歌を聴き、介護を受ける人の気持ちを考えてみました。

* * * * *

年老いた私がある日今までの私と違っていたとしても
どうかそのままの私のことを理解して欲しい
私が服の上に食べ物をこぼしても靴ひもを結び忘れても
あなたに色んなことを教えたように見守ってほしい
あなたと話す時同じ話を何度も何度も繰り返しても
その結果をどうかささげらずにうなずいて欲しい
あなたにせがまれて繰り返して読んだ絵本のあたたかな
結果はいつも同じでも 私の心を平和にしてくれた
悲しい事ではないんだ 消え去ってゆくように見える私の
心へと励ましのまなざしを向けて欲しい ~中略~
あなたの人生の始まりに私がしっかりと付き添ったように
私の人生の終わりに 少しでも付き添って欲しい
あなたが生まれてくれたことで私が受けた多くの喜びと
あなたに対する変わらぬ愛を持って笑顔で応えたい
私の子供たちへ 愛する子供たちへ

◆トピック◆ 国の認知症施策について

厚労省が公表した「認知症施策の方向性について」の冒頭の一部をご紹介します。

「かつて私達は認知症を何もわからなくなる病気と考え、徘徊や大声を出すなどの症状に目を向け、認知症の人の訴えを理解しようとするどころか、多くの場合、認知症の人を疎んじたり、拘束するなど不当な扱いをしてきた ~中略~ 認知症を正しく理解し、より良いケアと医療が提供できるように努めなければならない。」

過去の誤った認識を反省し、新たな施策を打ち出しています。※全文は厚労省 HP で見る事ができます。

記事：釜石市地域包括支援センター川崎達己さん

***** 活動予定 *****

- ☆ つどい定例会 (対象：正会員・準会員)
 - ・ 10 月 5 日 (金) 13：30～15：00
 - ※ 会場：小佐野コミュニティ 2 階
- ☆ 小規模定例会 (対象：正会員のみの)
 - ・ 11 月 15 日 (木) 13：30～14：30
 - ※ 会場：小佐野コミュニティセンター 1 階
- ☆ 研修会 (対象：全会員・一般)
 - ・ 12 月開催 ※詳細未定にて後日郵送します。

